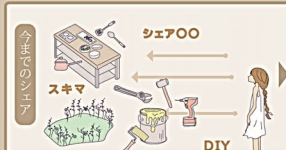


01 住まいの内側に溢れている「個」



私たちはみんな、同じ人間でも色々違う。1つ住まいの中で、ありのままに日々を過ごす。ただそれだけで、その暮らしの家は、これまでも、そしてこれからも、魅力的な「個」で溢れ溢れている。

02 暮らしの中の視覚的出会いから始まる「シェア」



中島さん、スクマさんやシェアキッチン、DIYなどに対して直感的に繋がりがよく、ありのままに日々を過ごす。ただそれだけで、その暮らしの家は、これまでも、そしてこれからも、魅力的な「個」で溢れ溢れている。



暮らしの中の趣味や嗜好から、少しずつ相手に興味を持ち、好きを知る。そうやって徐々にたくさんの好きを共にする。これこそ自然なシェアの始まり方である。ひとつの敷地がみんなが集まって暮らすことで、街にはたくさんの好きが溢れ出す。集まるほどに、新しい好きの発見が増えていく。そんな新提案です。

03 視覚的出会いを生む「すりガラス」を使った暮らしのしみ出し



すりガラスは通常、加工された凹凸面を内側に使い、外側には平滑面を持つことでガラスが汚れるにくくしている。

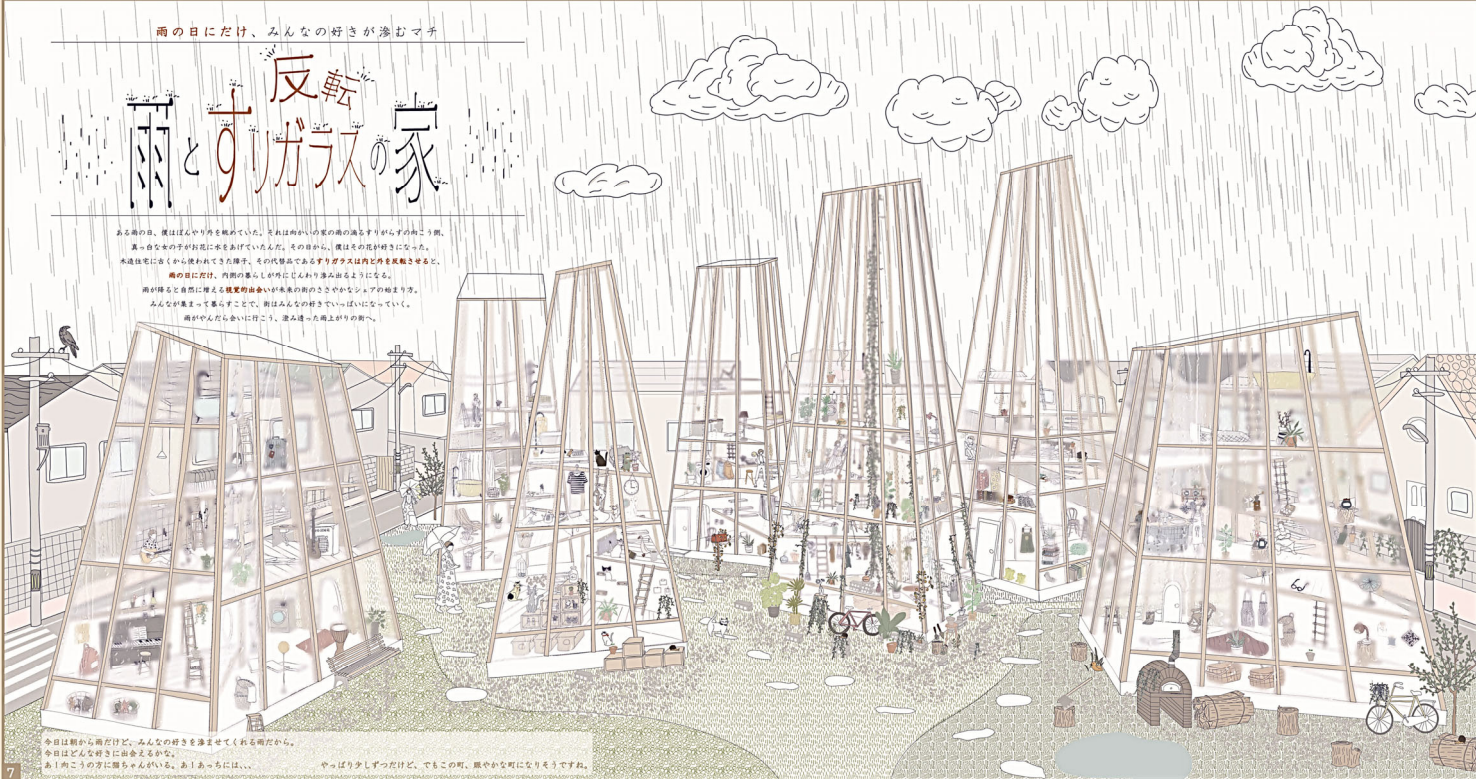


反転させた「すりガラス」で暮らしを包むことで、家にもがちな雨の日に溢れ出しが外にしみ出す。この期間限定の企画が実現し、より開放的な暮らしが実現する。

03+α 反転すりガラス実験



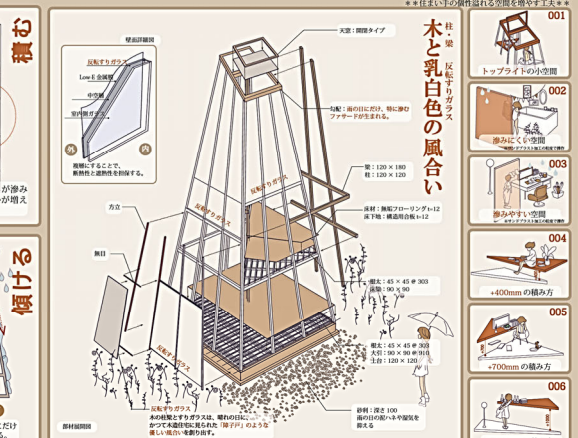
実験からすりガラスの加工面が内側になることで透明度が上がり、物体が透け出した。実験状態では障子の様な風合い(乳白)を持ち、濡れると後ろがじむ透明に近い状態に変化する。



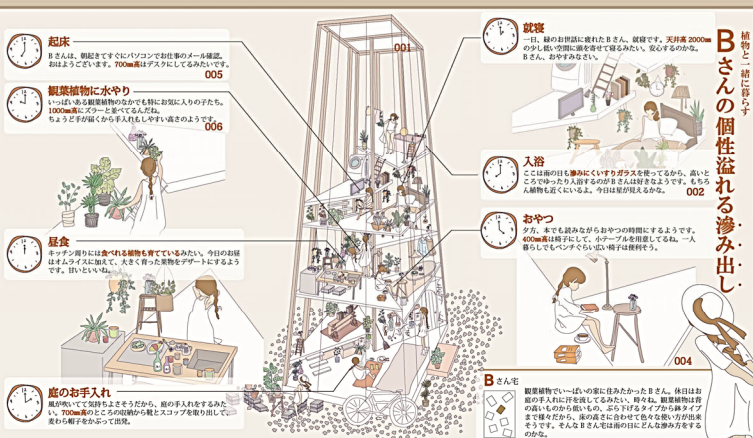
04 視覚的出会いを増やす木造建築



05 「個」がしみ出す住民の多様な暮らし方



06 雨の日の視覚的出会いから始まる「好き」が溢れるシェアのまち



06 雨の日の視覚的出会いから始まる「好き」が溢れるシェアのまち

